

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

# 上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和4年3月8日 NO. 24

文責 校長 柴崎 利美

児童数182名（3月8日現在）

## 新しい学年・新しい自分への準備

～ 人のふり見て、わがふり直せ…

### 善い行いはどんどんマネしましょう ～

上谷っ子のみなさんはこれからひとつお兄さん・お姉さんになるのです。泣いている子がいたら「どうしたの？」と聞きます。大人でも、困っている人がいたら「どうかしましたか？」と声をかけます。それは小学校新2年生でも新6年生でも、新中学校1年生でも同じです。また、自分自身に関しては、「自分がされて嫌なことは、人にはしない。」を再確認しましょう。これは実に大切な概念で、実生活の行動に置き換え、具体的によく考えることが大事です。そして、一つずつ自分の行動を変えていく。例えば「自分は〇〇と言われたら（されたら）嫌だな。だから、Aさんにも〇〇と言わないように（しないように）しよう。」ということです。小さいことですが、積み重ねれば上谷っ子みんな気持ちよく生活できる。学校に来ることも、クラスで過ごすこともとても楽しくなる。人間関係での心配事が減るから、勉強にも集中できる。よくお父さんお母さんに「人に迷惑をかけてはいけません。」と言われませんか。共通するところが多いと思います。「本当の笑顔」を目指す上谷小には必要な行動ですね。



主に高学年のみなさんに。少し前までは身近な「人」を見る時間・関わる時間が長かった。「あの人はいつもカッコいいな。ああなりたいな。」とか「あの人がひどい。また同じことやっている。ぼくはああいうことはしないぞ。」とか物事の判断基準をなんとなくでも心に折り込むことができた。今は若い人も若き人もスマホ画面を見る時間が長い。自分とつながっている本当の現実、家や近所や近隣の地域なのに、画面（映像）とそれを見ている自分が現実であると錯覚してしまう。画面を見る自分が中心で、社会的に見られる自分を意識しない。一言で言うと「公私」を意識しなくなる。あまり見せたくない「だらしのない自分」が肥大化して、シュッとすべき・ピシッとすべき機会があっても流してしまう。「私」と「私たち」の間のごく基本的な礼儀作法が消えていくのは非常に悲しく残念なことです。シュッとすべき、ピシッとすべき機会は意識して増やさなくてはならないと考えます。



写真のカッコイイと、目の前で身のだしなみ・所作・話し方はまるで別物です。AIが台頭してきての社会では人間力、「素のその人」がますます大事になります。最後の防波堤は学校と家庭にあると思います。協力体制がより重要になります。

スマホ画面が「あなたしっかりしなさいよ。」「言い方が失礼だよ。」「恥ずかしいじゃないか。」とか、持ち主に都合が悪いことは言わないのです。

## ◇ 表 彰 ◇

### 🐱 MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展

金 賞 4年 島本 歩乃美

### 🐱 第40回全国児童画コンクール

優秀賞 2年 根岸 翔也

入 選 6年 中里 涼乃 4年 古谷 ジョシュア

### 🐱 令和3年度坂戸市小中学校読書感想文コンクール

優良賞 1年 栗原 凜華 2年 金井 晴睦 3年 堀部 楓貴

4年 奈良田 彩桜 5年 金井 結愛 6年 仲田 凜



皆さん、よく頑張りました！

## 給食室探訪 … シュガーソフトパンの作り方の見学

3/1 (火) 簡易白衣を着て、栄養技師の福島先生の案内で給食の調理状況を見学しました。その日のメニューは「シュガーソフトパン・ABCスープ・イタリアンサラダ・牛乳。」

最近考案された「シュガーソフト」ですが、ツイストパン一個一個を油で揚げます。全体をむらなく揚げるため上から揚げ網で押して規定時間(10秒)待ちます。揚げたパン一個一個に今度は砂糖をまぶしていきます。手作業です。また、ABCスープは調理前で、いっしょに入れるカップ一杯の白ワインやローリエ粉末が印象的でした。おいしくなるとはいえ、なかなか家庭では…みなさんどうされていますか。すぐにシュガーソフトパンを試食させてもらいましたが、とてもおいしかった。

坂戸市の学校給食は「作りたて」が来るのが強みです。いくら冷凍保存方法が発展しても、時間的なものは覆(くつがえ)せない。「はい、できたよー」「うわあ、あったかい。おいしい!」の場面は、大げさかもしれないが学校で毎日起きる「奇跡」かもしれません。上谷っ子は先生方の指導もあって、残菜がほとんどありません。素晴らしいことです。給食室の調理員のみなさん、毎日ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



## タブレット学習の今 … 活用の量も質も上がっていく

3年生が2人グループで、様々なお題でタブレットを使い調べ学習の発表をしました。各先生方にインタビューしていました。私にも2班、質問に来たので回答しました。それをまとめたから発表をきいてもらいたいというのです。「上谷小の歴史」と「なぜ放送劇をやるのか」というお題でまとめてくれました。この子たち世代は「会社でもこうやってプレゼンするんだろうなあ」と思いつつ参加しました。「あれっ」と時々間違えもしますが、画面を変える時の手の動きの速さはなかなかのものです。パパッと操作します。そんな生活・そんな時代はすぐそこなのでしょう。

